



高校野球の魅力 (IRSME16033)

平成 28 年 8 月 31 日 加藤 丈侍

毎年、数多くのドラマが生まれ、もはや国民的行事となった高校野球。日本中に感動を巻き起こす高校野球の魅力と経済効果について調べた。

■ 数字が示す高校野球の人気

夏に開かれる全国高校野球選手権大会の入場者数は、2008 年以降、毎年 80 万人を超えている。大会期間を 15 日間とすると、1 日約 5 万 3,000 人もの人が甲子園球場に足を運んでいる計算だ。高校スポーツの大きなイベントの一つである全国高校サッカー選手権大会（昨年 12 月 30 日～1 月 11 日）の入場者数は 31 万 3,824 人であり、高校野球の集客力がいかに群を抜いているかを知ることができる。

また、2015 年の決勝戦は、平日に行われたにも関わらず 19.0%という驚異的な視聴率(NHK)をたたきだした。

■ 高校野球の経済効果

関西大学の宮本勝浩名誉教授の試算によると、今夏の第 98 回全国高校野球選手権大会の経済効果は 15 日間で 344 億円にのぼる。経済波及効果を計算するうえで基本となる直接効果（消費者が直接購入する財）としては、選手・生徒・教員・保護者ら学校関係者の消費支出が 33 億 8,712 万円、一般観客の消費支出が 120 億 685 万円、運営に携わる人たちの消費支出が 3,750 万円、マスコミ関係者の消費支出が 1 億 1,250 万円、テレビ買換えやグッズ購入など「その他の消費支出」として 4 億円があげられる。直接効果の消費支出総額は、159 億 4,397 万円となる。この直接効果をもとに、内閣府作成の平成 28 年版発表の「全国産業連関表」を用いて計算すると、今大会の経済波及効果は 344 億 3,897 万円にのぼる。経済波及効果とは、直接効果、一次波及効果、二次波及効果の総計である。一次波及効果は、直接効果の原材料の売上増加額をいう。二次波及効果は、直接効果と一次波及効果で売上が増加した企業や店舗の経営者・従業員・アルバイトらの所得・収入増加に伴う消費増加のことをいう。

プロ野球の東北楽天ゴールデンイーグルスが 2013 年に日本一になった際、宮城県に与えた経済効果が約 230 億円だったと推計されていることから、高校野球のインパクトは非常に大きい。プロ野球と比べると、外野席無料、アルプス席 600 円という安価な料金設定にもかかわらず

平成 28 年 8 月 31 日

(IRSME16033) 高校野球の魅力

らず、これだけ大きな経済効果を生む高校野球は、夏の風物詩であると同時に日本の一大イベントといえるだろう。

■ 高校野球の魅力

高校野球はなぜこれほど人々を魅了するのか。そこには野球の持つ不確実性が大きく影響していると考えられる。野球では打者が 1 試合で打席に立つ機会はわずか数回。プロでも 3 割打てれば一流といわれるほど失敗の多いスポーツだ。年間 143 試合あるプロなら『大数の法則』が働いて、選手の実力どおりの結果に近づくが、高校生の公式戦は多くはない。優れた実力を持っていても、試合で発揮されないことが往々にしてあるのだ。

それに加え、日本高等学校野球連盟による様々な仕掛けが多くの感動を呼び起こす。まずはトーナメント制を採用していることだ。試合は一発勝負、負けた時点で終わりだ。特に夏の大会は 3 年生にとって高校生活最後の試合になる。選手たちは負けたくない思いで必死にプレーをする。試合をする環境も厳しい。夏の大会は炎天下で試合を行う。勝ち上がっていくと連戦になるが、ベンチ入りできる選手は 18 人と決められており、大会が始まってからは入れ替えられない。過酷な環境下で耐えて頑張る姿が観客の感動を呼んでいる。試合に臨む条件が悪くなることで、野球の持つ不確実性がより強まり、番狂わせがよく起こるのだ。

一方で、ずば抜けた実力で不確実性をはねのけるスター選手が出てくると関心はさらに高まる。例えば 2015 年大会の清宮幸太郎選手（早稲田実業）やオコ工瑠偉選手（関東第一）がよい例だ。彼らが出場する試合では入場者数、視聴率とも大きく伸びる。

そこにメディアの力が加わり、感動は増幅される。高校野球はほかのスポーツに比べて圧倒的に露出が多い。NHK が全試合を放送するほか、主催が新聞社なので必ず記事になる。夏休み期間中に行われるため、国民の目に留まる機会が多い。そして、露出が増えることによって、郷土愛が呼び起こされる。卒業生や OB にとどまらず、周辺の住民たちやその県出身者たちの期待が高まり、試合の行方に一喜一憂する。

このように、さまざまな要素が絡み合い大きな盛り上がりにつながっているのが高校野球なのだ。

■ まとめ

選手の健康面に対する配慮、少子化による部員の減少、加熱する野球留学や特待生制度の問題など、高校野球が抱える問題は少なくない。これらの問題にいかにか立ち向かい、どこへ向かうのかに注目したい。また来年の大会ではどんなドラマが起こるのか、楽しみで仕方がない。
(了)